

授業改善等に関する報告書（2024年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2024 (前期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Japanese Literature	ブルナ, ルカーシュ	日本語をほとんど使わない英語の授業なので、ハードルが高いのではないかと心配していましたが、皆さんが積極的に授業に参加し、質問に答えてくれましたので、個人的にはとても楽しい、面白い授業でした。最後のプレゼンテーションもよくできていました。
Seminar on Global Studies	ブルナ, ルカーシュ	日本語をほとんど使わない英語の授業で、ハードルが高いのではないかと心配していましたが、皆さんが積極的に授業に参加し、毎回発言してくれましたので、個人的にはとても楽しい、面白い授業でした。文学散歩もよく出来ていて、参加してくれた山内先生もとてもよかった、と言っていました。
仮名書法 1	伊藤 文生	この授業について、以下のようなコメントをいただいた。 「異体仮名読解の知識を深めることが出来ました」、「とても楽しい授業でした。忙しい週間の中で心を落ち着けて文字に向き合うという時間はとても有意義なものでした」、「仮名の世界の一端を体験してみて、仮名の魅力が少しわかったような気がする」、「繰り返し書いたことで覚えることができた」、「漢字も含めた崩し字を覚えることができてよかった。また、書家の方々の動画を見て、様々なことを考えながら書く人、直感で感じたままに書く人など、どちらもまた違った味が出る作品になっていてどちらも魅力的だと思いました」、「仮名を書いたり読むことの楽しさを学びました。どこが違うのかまた、どこが同じなのかと見つけることが楽しかった。生徒に仮名を分かりやすく教えられるように、仮名の楽しさを学んでいきたいです」、「仮名書法の美しさを学ぶことができました。また、異体仮名を練習することで、現代の仮名までどのように変化したのか、なぜ字源が同じでも様々な形の仮名があるのかを理解することができました。だんだんとすらすら読めるようになってきたのが面白く、達成感を感じました。普段はあまり触れることの無い異体仮名ですが、記号や模様のように見えていた異体仮名が、授業を受けるにつれて文字として読めるようになったのが嬉しい」、「小テスト形式で確認ができたので、とても良い授業だった」、「落ち着いたら雰囲気、学習することができた」。以上。 受講生それぞれに有意義な授業であったようだ。さらに、教材についての研究を深めるなど、より一層効果的な学修のための準備を心がけたい。
仮名書法 1	伊藤 文生	この授業について、以下のようなコメントをいただいた。 「異体仮名読解の知識を深めることが出来ました」、「とても楽しい授業でした。忙しい週間の中で心を落ち着けて文字に向き合うという時間はとても有意義なものでした」、「仮名の世界の一端を体験してみて、仮名の魅力が少しわかったような気がする」、「繰り返し書いたことで覚えることができた」、「漢字も含めた崩し字を覚えることができてよかった。また、書家の方々の動画を見て、様々なことを考えながら書く人、直感で感じたままに書く人など、どちらもまた違った味が出る作品になっていてどちらも魅力的だと思いました」、「仮名を書いたり読むことの楽しさを学びました。どこが違うのかまた、どこが同じなのかと見つけることが楽しかった。生徒に仮名を分かりやすく教えられるように、仮名の楽しさを学んでいきたいです」、「仮名書法の美しさを学ぶことができました。また、異体仮名を練習することで、現代の仮名までどのように変化したのか、なぜ字源が同じでも様々な形の仮名があるのかを理解することができました。だんだんとすらすら読めるようになってきたのが面白く、達成感を感じました。普段はあまり触れることの無い異体仮名ですが、記号や模様のように見えていた異体仮名が、授業を受けるにつれて文字として読めるようになったのが嬉しい」、「小テスト形式で確認ができたので、とても良い授業だった」、「落ち着いたら雰囲気、学習することができた」。以上。 受講生それぞれに有意義な授業であったようだ。さらに、教材についての研究を深めるなど、より一層効果的な学修のための準備を心がけたい。
漢文学基礎演習 1	秋谷 幸治	例年の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間とをメリハリをつけて設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば孔子の弟子宰予について、どうしようもない後輩にはどのような指導をするのがよいかなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。授業アンケートの結果を見ると、「論語を読み、自分に置き換えて考える力が身についた」といった肯定的なコメントを複数もらいました。特に各学生が自分の問題として論語を捉えてくれた点がよかったと思います。後期も面白く、かつ身になる授業を展開していきたいと思います。
漢文学基礎講読 a	田中 靖彦	本授業に対し高い評価をいただき、ありがとうございます。また、授業を通して成長を実感できたといったコメントも多くいただきました。授業の難易度や進行速度についていただいたご意見は、今後の授業で可能な限り取り入れていきたいと思っております。後期授業も何卒よろしくお願いたします。

[2024 (前期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
漢文学基礎講読 a	田中 靖彦	<p>本授業に対し高い評価をいただき、ありがとうございます。漢文への理解が深った、苦手だったけど以前より読めるようになったなど、授業を通して成長を実感できたことが伝わってくるコメントも多くいただきました。また、とても講義が楽しかったというコメントをいただいたこと、とても光栄に思います。</p> <p>授業の進行速度、私のしゃべり方の速さ、板書など、授業の進め方についてのご意見もいくつかいただきました。こういったご意見は、今後の授業で可能な限り取り入れていきたいと思えます。こちらでもよりよい授業を実施すべく努めてまいりますので、改善すべき点についてのご意見は、今後とも随時お寄せください。後期授業も何卒よろしくお願いたします。</p>
漢文学基礎講読 a	田中 靖彦	<p>本授業に対し高い評価をいただき、ありがとうございます。授業を通して漢文がより読めるようになったといったコメントも多くいただきました。説明がわかりやすいというコメントもいくつかいただきました。よりよい授業を実施すべく努めてまいりますので、お気づきの点がありましたら、今後とも随時お寄せください。後期授業も何卒よろしくお願いたします。</p>
近現代文学演習 1	棚田 輝嘉	<p>回答ありがとうございます。 全体的に難しかったようですね。 研究方法ということ自体が、すでに難しすぎるのかもしれませんが。 来年度は、少し方法を見直そうと思えます。</p> <p>今年度、後期の授業は結構楽しめるかと思えます。</p>
近現代文学演習 1	大原 祐治	<p>履修者の皆さんが積極的に授業に参加し、学びの実感を得ているということを確認することができました。後期の授業も、知的好奇心を刺激する授業とすることができればと思えます。</p>
近現代文学演習 1	ブルナ, ルカーシュ	<p>皆さん、よく頑張りました。授業では、犬の小説を読みましたが、それぞれの作品を丹念に読み解き、執筆背景や同時代評価、先行研究などを調べることによって、作家や作品の特徴、同時代の社会や文化など様々な要素が見えてくることをこの授業で再確認できたのではないかと思います。後期も頑張ってください。</p>
近現代文学基礎演習 1	棚田 輝嘉	<p>回答ありがとうございます。 概ね好評評価を頂き、安心いたしました。 ただ、シラバス通りには進まなかったことが反省点としてあげられます。 後期も盛りだくさんの内容で、進捗が心配ですが、一緒に「学問・研究」しましょう！</p>
近現代文学基礎演習 1	大原 祐治	<p>履修者の皆さんが積極的に授業に参加し、学びの実感を得ているということを確認することができました。後期の授業も、知的好奇心を刺激する授業とすることができればと思えます。</p>
近現代文学研究 a	片野 智子	<p>まずはアンケート回答ありがとうございます。「ジェンダー批評とクィア・スタディーズ」というテーマで講義をさせていただきましたが、聞きなれない用語や専門知識も多く、大変だったと思えます。なるべく解りやすく日本文学を用いて説明しながら、現代の問題とも関連づけて話そうにしましたが、「日本文学のことがもっと知りたかった」というコメントもいただき、バランスをもう少し考えないといけないと反省しました。ただ、中には「この大学に入って一番面白い授業だった」と言ってくれる学生もいて、全員にまんべんなく興味を持ってもらえることの難しさを痛感しています。実際に、アンケート結果では満足してくれた方とそうではない方にばらつきがあり、もっと全体に興味を持ってもらえるよう、工夫して講義を行う必要があると思えます。具体的には、日本文学を用いてどのようにジェンダーが描かれているのかを説明するだけでなく、どのように同時代において男女の性のありようが受け止められ、作品に描かれ、また研究が成されてきたのか、より具体的に時代に即して説明することで、ジェンダー批評とクィア・スタディーズの面白さが解ってもらえるような授業にできればと思えます。</p>
近現代文学研究 a	ブルナ, ルカーシュ	<p>さまざまな作品を比較分析していく授業で、やや難解なところもあったかもしれませんが、コメントやレポートをみると、皆さん、意欲的に取り組みました。後期も頑張ってください。</p>
近現代文学史 a	棚田 輝嘉	<p>回答ありがとう。 オンデマンドと言うことで、不十分な点があったかと思えますが、概ね好評評価をいただき、ホッとしています。 皆さんの学習時間の平均が1.4時間、というのに感動です。 我が意を得たり。 後期もびしびし行きますので、頑張ってください。</p>
近世文学演習 1	佐藤 悟	<p>写本の調べ方が身についたのはよかったですね。</p>

〔2024（前期）国文学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
近世文学研究 a	佐藤 悟	特にありません。皆さんが楽しそうにしていたのが印象的です。
近世文学史 a	近衛 典子	授業アンケートにお答えいただき、ありがとうございます。 「近世」の文学史、という名目ですが、近世を特徴付ける誹諧は、それだけを切り出してもなかなか理解が難しいため、古代から近世までの韻文史を総体的に講義してきました。分かりにくい面もあったかと思いますが、毎時のコメントからも熱心な受講態度が窺われ、私にとっても励みとなりました。和歌的世界に対峙する誹諧世界というものを深く理解していただければ幸いです。
近代文学基礎講読 a	大原 祐治	履修者の皆さんにとって授業の内容や速度が概ね適切であったと確認することができました。皆さんの自己評価が少し低めになっているようにも思われますが、期末レポートの内容は授業での学びがきちんと反映されているものでした。
古典文学基礎講読 a	越後 敬子	みなさんのコメントにもありましたが、初めは全く読めなかった変体仮名を、回を追うごとに読めるようになっていく実感があったのではないのでしょうか。みなさんの成長を目の当たりにして、私もとても嬉しく思っていました。 説明をもっとわかりやすくというご意見がありました。それは今後も十分気をつけていきたいと思えます。ただ、楷書、行書、草書と文字をくずしていった変体仮名になるので、文字の形を理解して各自が覚えていくことが最も重要なのではないかと考えています。 また、資料のサイズを揃えてほしいというご意見もありました。前半はA4、後半はA3を使用しました。どちらかに統一できればよいのですが、前半の資料をA3にするのは大きすぎ、後半の資料をA4に収めると文字が小さく読みにくくなってしまいます。同じA版であれば半分に分ければ同じサイズになりますので、ファイルのしかたを工夫してもらえればと思います。
国語学演習 1	福嶋 健伸	「いつでも質問がしやすい環境を先生が作ってくださっていたので良かった。」「4年になる準備として、誰もが受けるべき授業だと思った。」というコメントもあり、授業として、うまくいったと思う。「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」の数値も全体平均を超えている。
国語学演習 1	山田 里奈	この授業は、国立国語研究所のコーパスとその穴を埋めるデータの作成を通して、調査・考察をする力を養うことを目的としていました。説明力が付いた、調査の方法がわかったというコメントがあったように、みなさん、発表を頑張り、様々な力を付けることができたと思います。自分たちが設定したテーマについて、積極的に取り組むことができ、データの作成は大変だったかもしれませんが、有効に活用することができていました。
国語学概論 a	軽部 利恵	皆さんおおむね真剣に、そして楽しく授業を履修していたことが授業評価アンケートから伝わってきました。この授業ではフィードバックを重視して皆さんの疑問に丁寧に答えていくことを心がけ、前回分の授業内容を運動させる形で講義を行っていました。 結果として「どこまでがフィードバックが分かりにくかった」という声がありましたので、今後はこの点を気をつけたいと思います。
国語学概論 a	山田 里奈	この授業は、日本語学の分野の中でも、現代語における音声・音韻、文法、文字・表記、語彙を中心に扱いました。日本語学とはどのようなことを研究するのかということを知ってもらうことを目的としていました。コメントに、身近な日本語について知ることができた、専門的な知識を得られたというものや、印象に残った授業内容を書いてくださったものもありました。何か一つでも、興味が持てる話があったようで、良かったなと思います。朝早くからの授業でしたが、レスポンスのコメント等、積極的に取り組んでくださっていたと思います。
国語学基礎演習 1	山田 里奈	この授業は、室町時代の語彙・語法についての論文を紹介する、狂言資料で用例を探してみるという2つを通して、日本語の歴史や調査方法について理解することを目的とし進めました。みなさん、スライドのデザインから内容まで、すくなく工夫していて、意欲的に取り組んでくださっていたと思います。コメントに、論文を読む力が付いた、狂言の言葉を知ることができた等とあったように、それぞれが自分の目標を達成できたのではないかと思います。かなりの人数であったため、1回の授業に5~6名の発表となってしまうました。私からのフィードバックがあまりできなかった点は、何か改善できるように考えたいと思います。
国語学基礎演習 1	福嶋 健伸	「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」の数値が、4.80とかなり高い（全体平均4.40）。学生の満足度の高い授業を行えたと思う。テーマをかなり限定して論文を講読したのがよかったのかもしれない。
国語学研究 a	吉田 雅子	アンケートへのご協力ありがとうございます。これからの授業運営の参考にしたいと思います。この授業で学んだことを今後活かしていただければ幸いです。

[2024 (前期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国語史 a	山田 里奈	この授業は、主に中世頃まで(室町時代頃まで)を対象とし、文字史、音韻史、文体史、語彙史について理解することを目的とし進めました。何人かの人が、日本語の歴史について理解できたとコメントして下さっていたように、アンケートの結果を見る限り、それぞれが目標を達成できていたと思います。毎週の課題やレポートから、意欲的に取り組んでいることがよくわかりました。
国文学概論 a	大橋 直義	国文学概論 a はシラバスの通り国文学を学ぶための最も基礎的な方法や約束事を身につけることを目的としていました。そのため、抽象的な方法論やツールの修得ということを中心にせざるをえませんでしたので、「読み解く面白さ」はどうしても二の次になってしまいました。後期 b は、逆に色々なものを読み比べて、その面白さを知ってほしいと思います。
国文学概論 a	舟見 一哉	「Q14. あなたがこの授業で自分に成績をつけるとしたら、成績評価は何ですか?」に対する自己評価が低い点が気になるが、それ以外の項目は想定以上によいものだったと考える。
国文学概論 a	佐藤 悟	考える力がついたのは嬉しく思います。
上代文学演習 1	池田 三枝子	回答率が4割強なので判断が難しいところですが、回答者のうち約9割がこの授業に意欲的に取り組み、全員が自身の成長を実感できているのは、とても良いと思います。前期・後期一連の授業ですが、後期には要求水準が上がるので、意欲的に取り組みれば必ず結果が出る(=成長を実感できる)と思います。
茶道 a	橋本 素子	みなさま、ご回答いただきまして、誠にありがとうございました。今年初めての講座ということで、手探り状態の所がございました。そのため、レジュメの情報量が若干多めとなり、整理しきれていないところがありました。その点は今後改善していきたいと思います。いっぽうで、茶道・茶の湯という文化そのものについて学ぶことも大切ですが、これを通じて、歴史学という学問分野のルールや研究手法をご理解いただき、実践し、身につけていただけた方が大変多いことを実感しております。また質疑応答の時間では、自ら率先して発言をしてくださった方も多く、頼もしく存じました。今後も一層、課題を見つけ、それを解決するために、史資料・先行研究等を調べる、ということを自発的になさっていただき、学問の楽しさを感じていただきたいと思います。
中古文学演習 1	菅原 郁子	本授業の到達目標は、古典文学の具体的な研究文献の検索・収集の方法を知り、問題テーマを自ら発見できる力を身につけることであり、凡そ達成出来ていたと思います。後期はさらに自らの作品理解と考察を深める力を養い、平安時代の王朝文学・文化をより深く理解できるように指導したいと考えています。
中古文学演習 1	舟見 一哉	難しい内容ながら、理解度が高い点は評価できると考える。やや詰め込みすぎた感もあるので、速度を落としてゆっくりと授業を進めることにしたい。
中古文学基礎演習 1	山口 一樹	アンケート項目のうち、「6. 各回の授業の進むスピードは適切でしたか?」で「どちらかといえばあてはまらばあてはまらない」の回答者が見られた。「7. 説明はわかりやすかったですか?」「9. 板書やパワーポイント、配布資料はわかりやすかったですか?」の項目の評価が平均より低いため、発表資料作成のための調査方法を解説する際、説明のスピードが早かったかもしれない。前期は発表時間を確保するうえで、全体に解説部分の時間が不足していたようにも思われる。後期はできるだけ丁寧な解説を心掛けたい。
中古文学基礎演習 1	舟見 一哉	学生からのコメントはいずれも嬉しい言葉ばかりであった。授業の進め方について、ひとつの方法を確立できたように個人的にも思っている。後期も同じく全力で取り組みたい。
中古文学研究 a	菅原 郁子	本授業の到達目標は、『源氏物語』第三部(匂兵部卿宮巻～夢浮橋巻)の名場面を輪読し、絵巻などと比較しつつ平安文学・平安文化史を理解し、感受性を深めるものである。今後はさらに、現代人とは異なる平安時代の人々の価値観を踏まえ、広い視野で物事の本質を見極める力を身につけていってほしい。
中古文学史 a	庄司 敏子	中古文学作品を広く知ってもらうだけでなく、多角的な視点から興味を持ってもらいたいという授業の狙いが概ね達成できたようであった。また、毎回のフィードバックが好評であった。さらに工夫を重ねながら継続したい。
中国文学演習 1	田中 靖彦	本授業に対し高い評価をいただき、ありがとうございます。授業の進行速度を速めてもよい、というご意見もいただきましたので、後期授業では受講される皆様のご意見を踏まえつつ、進行速度も調整してまいります。後期授業も引き続きよろしくお願いたします。

[2024 (前期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
中国文学研究 a	秋谷 幸治	例年の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間とをメリハリをつけて設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば鶯鶯伝について、実写化するとしたら誰が鶯鶯を演じるのがぴったりと思うかなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。授業アンケートの結果を見ると、「物語を読み、解釈に繋がるまでにどのような考えを持ったのか、またその解釈はどこを根拠にしているのかなど自分の意見を話す上で必要になる要素を実践を通して学ぶことが出来ました」といった肯定的なコメントを複数もらいました。またテストにおいて、斬新な作品解釈をしてくれた学生もおり、新たな発見もありました。後期も面白く、かつ身になる授業を展開していきたいと思えます。
中国文学史 a	秋谷 幸治	例年の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間とをメリハリをつけて設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば賦の特徴である列挙表現について、列挙表現が用いられたCMソングを挙げてもらうなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。授業アンケートの結果を見ると、「文学を通して、中国の歴史や文化についての理解を深められた」といった肯定的なコメントを複数もらいました。後期は画像資料も用意しながら、より面白かつ身になる授業を展開していきたいと思えます。
中世文学演習 1	大橋 直義	みなさん非常によくがんばりました。 例年の中世文学演習に比して、出色のクラスだと思います。 後期および卒業論文もこの調子でがんばりましょう。
中世文学基礎演習 1	大橋 直義	この授業は、学部2年生が臨むには、あえてかなり高いハードルとなるように構築しています。そのため、残念ながら途中で脱落してしまう方も多いのですが、最後まで参加することができた皆さんは、かなりの実力を身につけることができたと考えてもらって差し支えありません。ぜひ今後も研鑽を積んでください。
中世文学史 a	太田 克也	アンケートの周知を数度したものの、回答率が4割に満たず、どれだけ受講者全体の意識を反映できているのかわからないが、理解度については、レポート等の成績と概ね比例しているように感じる。高校までのような完璧に理解できる内容では、学問に触れたことにはならないので、難しい事柄もあるということを知ってもらえたのは、授業の構想段階での隠れた目的を達成したと言ってよいであろう。説明のわかりやすさや今後の学習意欲は、授業の理解度に左右される項目であるから、これらが平均よりもやや低いのは当然のことと思う。わかりやすさを追求すれば切り捨てられるものが増え、おもしろさを重視すれば極端な事象を強調せざるを得ないから、安易にわかりやすい/おもしろい授業にしたいとは思わないが、学生の認識と大幅に乖離しないよう、注意していきたい。
特殊演習 1	大橋 直義	回答者がいませんので誰も見ていないと思いますが、日々、とてもよくがんばっていると思います。卒業論文にむけて、まい進してください。
特殊演習 1	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。 回答数が少ないので、そうそう喜んでみられないのですが、概ね好評価でホッとしています。 後期はもっともっと盛りあがっていきましょう！
特殊演習 1	田中 靖彦	本授業に対し高い評価をいただきまして、ありがとうございます。後期授業も引き続きよろしく願いいたします。卒論執筆、頑張ってください。
特殊演習 1	山内 博之	アンケートの提出者が1名のみというのはよくないですね。授業中にアンケートをしてもらうのを忘れていました。来年度は気をつけようと思います…。
特殊演習 1	ブルナ, ルカーシュ	前期は、就活で忙しく研究はなかなか思うように進まない人も多かったのではないかと思います。これからは、研究に心血を注ぎ、いい卒業論文を書いてください。
特殊演習 1	池田 三枝子	回答者1名なので判断が難しいところですが、回答者については、授業内容を「十分に理解できた」とし、「成長が実感できた」としているのは大変喜ばしいことだと思います。自分に成績をつけるとしたら「B」となっていますが、「授業に意欲的に取り組んだ」という実感があるので、おそらくBは過小評価ではないでしょうか？ 就活等で卒論だけに集中するのはなかなか大変ですが、しっかり卒論に取り組んで、それを書ききった自信は今後の人生にプラスになると思います。
特殊演習 1	大原 祐治	卒論の完成に向けて、皆さんが積極的に取り組んでいることを確認しました。後期も引き続き、しっかりサポートしていきたいと思えます。

〔2024（前期）国文学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
特殊演習 1	山田 里奈	忙しい時期に、卒論のテーマについての発表をしたり、目次案を作成したり、仮題目を決めたりといった課題をよくこなしていたと思います。コメントに、自分の卒論のテーマについて理解が深まった、卒論の書き方がわかったと書いてあったように、一人一人が、自分の卒論のテーマや先行研究についてよく考え、意見交換をしながら、進めることができていると思います。
特殊演習 1	福嶋 健伸	特殊演習の授業内容は、学生達の卒論に反映される。現段階での卒論の内容はとてもよく、授業はうまくいっていると思われる。
特殊演習 1	舟見 一哉	3名しか回答がない点、深く反省する。
日本語の音声	山内 博之	期末試験の成績を見ると、+AとBが多く、やや二極化しているように見受けられました。授業の内容が理解できた人とそうでなかった人の間に、少し差ができてしまったのかもしれませんが。来年度は、復習プリントの作り方をもう少し工夫してみようと思います。
日本語教育学演習 1	山内 博之	受講者数が多く、効果的に演習を行なうのがなかなか難しいです。どうすればいいのか、すぐには思いつきませんが、演習の方法をもう少し考えてみようと思います。
日本語教育文法-初級-	山内 博之	科目名が「日本語教育文法」であるにもかかわらず、授業内容が「教育」からやや離れ、「日本語学」に近くなってしまっているように感じます。より実践的な内容が扱えるよう、努力したいです。
日本語教授法-初級-	山内 博之	どうすれば「教授法」という技術をオンデマンドでうまく教えられるのか、なかなか難しいです。能動的に参加してもらうためには、どのような課題を出すかにかかっているのので、できるだけ実践的な課題が出せるよう、心がけたいと思います。
日本語文法論 a	福嶋 健伸	コメントも、「先生の雰囲気わかりづらいオンデマンドでの受講だったけれど、優しく教えようとしているのが伝わってきて気を張りすぎずに受けることができた。」「わかりやすく、楽しい授業でした。くずし字の読み方プリント、私が高校生の時にあったらくずし字オタクになっていたかもしれません。前期間、ありがとうございました!!」のように、好意的なものばかりであり、授業はうまくいったと思う。
日本文学史 a	大橋 直義	本来の担当者から急きょバトンタッチしたために、私の準備が行き届かない面も多々あったかと思えます。しかしながら、それを補ってあまりあるほどに充実した毎回のコメントや最終レポート、とても素晴らしいものでした。
文学散歩プロジェクト	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。 望外の好評価、嬉しい。 自分で調べ、自分で動き・考える、という学びの楽しさを知っていただければ、これ以上嬉しいことはありません。 学んだことを、今後も是非活用してください。